



報道機関 各位

鴨川市・早稲田大学交流事業「おもしろ科学実験教室」について

鴨川市は、来る8月24日（木）、早稲田大学との交流事業「おもしろ科学実験教室」を、総合運動施設の文化体育館で開催します。同大学理工学部の技術職員が講師となり、市内の小学生を対象に、科学の魅力を伝えます。

この交流事業は、子どもたちの理科離れを防ぐことを目的に同学部が開講している科学実験教室「ユニラブ (University Laboratory)」の出前版で、平成10年度にスタートしました。コロナ禍の影響で令和2年度と3年度は中止となりましたが、4年度に再開し、今年度で24回目を数えます。

教室では、低学年（小学1～3年生）向けの「闇の力で光をはなて！」と、高学年（小学4～6年生）向けの「色が変わる?! 消える?! 魔法の液」という事前予約制の2つの実験が予定され、電子回路をつくって街灯が自動で点灯する仕組みを調べたり、うがい液に含まれるヨウ素の性質から、どんなものにでんぷんが含まれるかを調べます。

このほかにも、長狭高等学校科学部による実験ブースなど、予約なしで当日参加できるコーナーも用意されます。

実験は午前と午後の2部制で、各部とも同じ内容で行われます。定員は、低学年が各部32人、高学年が各部30人で、合計124人の参加者を見込んでいます。

広報かもがわ（7月1日号）や市ホームページ、LINEのほか、市内小学校を通じ7月14日（金）まで募集を行い、応募者多数の場合は抽選となります。

※実験の詳細な内容などは裏面をご覧ください。

問い合わせ

教育委員会 生涯学習課 生涯学習係

担当：山田、前田

TEL：04-7094-0515 FAX：04-7094-0531

- 日 時 令和5年8月24日(木)
 - ・午前の部＝午前9時30分～正午
 - ・午後の部＝午後1時30分～4時
- 場 所 総合運動施設の文化体育館
- 参加費 500円(材料費・保険代など)
- テーマ・内容等

テーマ	内容	対象	定員(人)	
			午前	午後
闇の力で光をはなて!	街灯が夕方になると自動であかるくなるのはなぜだろう?電子回路をつくってその謎を解き明かそう!	市内小学1～3年生 ※2年生以下は必ず保護者同伴	32	32
色が変わる?! 消える?! 魔法の液	茶色のうがい薬で紙に文字や絵をかくと、色が変わります。その理由は、うがい薬の中のヨウ素が紙に含まれるでんぷんと反応しているためです。うがい薬を使って、どんなものにでんぷんが含まれているか調べてみよう!さらに、うがい薬でかいた文字や絵に、魔法の液を塗ると色が消えたり、戻ったりします。実験を通して、魔法の液の秘密を考えてみよう。	市内小学4～6年生	30	30

■写真(令和4年度:オリジナルペーパーフラワーをつくろう)

